

にこにこ情報

竹とんぼ



発行 社会福祉法人緑樹会

〒904-0021 沖縄市胡屋7-2-10
電話 098-930-2525(にこにこ)
FAX 098-933-1324
ホームページ <http://www.ryokujukai.or.jp/>
メール info@ryokujukai.or.jp



(緑樹苑内撮影)

飛行日誌

四月は新年度のスタートに伴い、入学、就職、転勤などいろいろ忙しい月である。平成二十九年度より社会福祉法人制度改革が本格施行することから、特に、社会福祉法人においては新制度の下で新たな一步を踏み出す大切な時期を迎える。

制度改革の意義を前向きにくみ取ると、「社会福祉法人は地域に貢献する本来の役割を十分に果たす」ことにあると思う。そのための実際的な手段としては、ガバナンス（統治・管理）の強化や経営の透明性、財務会計の規律と地域貢献等々、税制における社会福祉法人の優遇措置に対する責任の部分を強化した面も大きい。社会福祉法人側としては、制度に基づき適正かつ透明性の確保はもとより、もっぱら利用者の皆さんへのサービスの向上や家族の方々への信頼、そして地域の理解と協力なくしては、持続的な経営は難しくなる。そのようなことからすると、今年度は制度改革とともに、緑樹会の持つ良さをさらに進展させ、課題解決への新たな展開へ取り組むべき年度になる。

その一環として、今年度より沖縄市から地域包括支援センター事業の委託を受け、西部北地区における高齢者の福祉・介護・医療をはじめ、生活、住宅、地域への参加等々、総合的・包摂的な支援を担つて行っていくことになる。この事業は今まで役所が全市域を対象に実施してきたが、これからは受託者である七地区の地域包括支援センターがそれぞれの地域において、その役割をしつかり果たしていくなければならない。どの支援センターにとつても初めての経験となるが、社会福祉士や保健師（看護師）、ケアマネージャーなどの専門家を揃え、プロフェッショナルな仕事をすることになる。

地域包括支援センターは、地域の皆さんをはじめ行政、自治会、民生員、病院など、多くの方々の支援と協力なくしては事業を推進することはできない。ある意味では社会福祉法人緑樹会の力量を問われることにもなる。緑樹会は三十八年の歴史と実績を財産として、今回も新たな船出に全力を尽くしたい。（富永健）

地域包括支援センターとは？

地域の高齢者の方々が、住み慣れた地域で安心して生活していただくための総合的な相談・支援を行うセンターです。

総合的な相談・必要な支援を行います。

総合相談支援業務

地域の高齢者が住み慣れた地域で安心して生活できるよう、地域における保健・福祉サービス、制度等の利用につなげるための必要な支援を行います。



介護予防ケアマネジメント業務

地域の高齢者が自立した生活を送れるよう、心身の状況や環境に応じた適切なサービスが提供されるよう必要な援助を行い、皆さんの健康づくりや介護予防のお手伝いをします。



その他、さまざまな面から地域の高齢者の暮らしを支援するための拠点施設です。高齢者に関するご相談やお困りごとがあるときは、地域包括支援センターをご利用ください。

ひとりで抱え込まないで…

どんな相談も受け付けます。

一人暮らしの不安やご家族の介護など、高齢者に関する様々なご相談に対応します。

「どこに相談すればいいか分からない」という時も、まずはご連絡ください。

介護・福祉サービス、保健医療、虐待・財産管理、各種制度のことなど、どんなことでも大丈夫です。相談内容に適した情報提供や助言などを行います。

**沖縄市地域包括支援センター
西部北(緑樹苑内)**

包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

住み慣れた地域で継続して暮らしていくよう高齢者の個々の状況や変化に応じた包括的・継続的な支援を受けられるよう、関係機関との体制づくりに取り組みます。



権利擁護業務

安心して日常生活を送れるよう地域の高齢者の虐待防止や成年後見制度の紹介、消費者被害の未然防止など、皆さんの権利を守る取り組みをします。



案内図



地域包括支援センターは、高齢者が住み慣れた地域で心身の健康を保持しながら、安定した生活ができるよう、介護をはじめとする福祉サービスや医療、権利擁護など、必要な援助をさまざまの面から総合的に支援し、地域の保健医療の向上、福祉の増進を包摂的に支援することを目的とした施設です。

総合相談支援

平成29年4月から、これまで行政が担っていた沖縄市地域包括支援センターが市内7カ所に設置され、地域型包括センターとして業務が開始されます。緑樹苑は沖縄市からの委託を受け、4月1日より『沖縄市地域包括支援センター西部北』の運営を開始します。『西部北』は、内各地の自治会区のうち、八重島・センター・中の町・胡屋・園田の5自治会区を担当圏域としています。

権利擁護業務は、権利侵害を受けている又は受ける可能性が高いと考えられる高齢者が、安心して尊厳ある生活ができるよう権利侵害の予防や対応を専門的に行います。虐待の防止に取り組み、虐待の事例がある場合は関係機関と連携して適切な対応を図ります。また、必要な場合は福祉施設等への措置入所などを実施します。

権利擁護

総合相談支援業務は、地域の高齢者が住み慣れた地域で心身の健康を保持しながら、安定した生活ができるよう、介護をはじめとする福祉サービスや医療、権利擁護など、必要な援助をさまざまの面から総合的に支援し、地域の保健医療の向上、福祉の増進を包摂的に支援することを目的とした施設です。

高齢者が住み慣れた地域で安心して生活できるよう、どのようないい支援が必要かを把握し、適切な保健・医療・福祉サービスなどの関係機関や制度利用に繋げるための支援を行います。その為に、担当する地域に居住する高齢者の実態把握や支援を必要とする方に初期段階から継続的に専門的な支援を行うほか、介護をするご家族の負担軽減に関することや、関係機関との協力・連携のネットワーク構築に取り組みます。

他にも、詐欺などの消費者被害を未然に防止するため関係機関と情報を共有し早期発見と防止に取り組みます。また、財産管理など成年後見制度の利用が必要な方へ制度の説明や関係機関への助言や支援方針の検討、繋げる業務を行います。

介護予防ケアマネジメント業務は、要支援者等に対し、介護予防や日常生活支援を目的とした高齢者の心身の状況や環境の変化に応じた包括的なケアを継続的に受けられるよう関係機関と担当する介護支援専門員へのサポートを行い、地域のサークル活動や老人クラブ、ボランティア活動等への支援を行います。

また、介護予防支援事業として、予防給付の対象となる要支援者が適切な介護予防サービスを受けられるよう、個々の状況に応じたサービス計画を作成し、サービス提供事業者との連絡調整等が包括的に提供されるよう必要な援助を行います。

他にも、認知症になつても安心

このように、地域包括支援セン



して暮らせる街づくりを目指して、認知症に対する地域住民の理解を深め、地域全体で認知症の人やその家族を支える環境づくりのひとつとして、「認知症サポートセンター」の養成講座を開催し、認知症に関する普及啓発活動にも取り組みます。

生活支援コーディネーター業務では、地域の高齢者が生きがいを持って在宅生活を継続できるよう、支援ニーズと地域の多様なる主体による社会資源とのコネクションを整備します。また、介護支援専門員の資質向上を図る研修会や地域ケア会議の開催のほか、困難事例等への助言や支援方針の検討、多職種との連携を図ります。

このように、地域包括支援セン

竹とんぼ

三線の音色に「耳ぐすい」

3月4日“さんしんの日”交流会



緑樹苑デイサービスセンター

3月4日(土)、「さんしんの日」交流会が、デイサービスセンターで開催された。

司会の比嘉樹主任から三線の弦やカラクリなど箇所の名称などの説明のほか、三線の歴史などを紹介した。

その後、比嘉樹主任による三線の演奏で「安里屋ユンタ」が始まる。利用者の嘉手苅俊一さんも一緒に演奏に参加し、三線の深みのある音色に全員が聞き入り「耳ぐすいさあー」と喜びの声も聞かれた。交流会のフィナーレは、もちろんカチャーシーで盛り上がり、普段より手が高く上がる利用者さんも多く見られた。「来年も又さんさんの日に演奏しましようね」と約束し、交流会は幕を閉じた。(又吉美香)

ひなまつりお茶会

～大正琴の調べ～



(照屋利恵子)



ケアハウスていんさくゆな

3月7日(火)、ケアハウスていんさくゆ花では『ひなまつり茶会(大正琴の調べ)』を開催した。会場には七段の雛人形が飾られ、とても華やかな雰囲気となった。

今回はボランティアでお茶の先生と大正琴協会、琴伝流の先生6名にお越しいただいた。全員でひなまつりの歌を合唱したほか、お茶の先生からお点前が披露され、作法がわからないと少し緊張した様子ながら、奥田施設長と利用者を代表して石垣直さんがお茶を味わった。

その後、皆さんにもお茶と和菓子が振る舞われ、大正琴の演奏を聴きながらひなまつり会を楽しんだ。利用者からは「とても良かつた。楽しかった」と笑顔があふれた。

竹とんぼ

竹とんぼ

手芸クラブ ひな飾りを制作



ケアハウスはいぶさかす

2月6日(月)、ケアハウスはいぶさかすの手芸クラブでは、3月のひな祭りに向けて壁飾りを作った。

今回は牛乳パックに和紙を貼った台紙を作り、ひな人形の塗り絵を貼った壁飾りを作った。

皆さんそれぞれ個性的な作品が出来上がり、塗り絵では、かわいらしい色使いをする方や、大き目も振らず黙々と集中している方、何色にしようか迷っている方もいたが、皆さん出来上がりに満足し「可愛くできたさー、部屋に飾ろうね」と楽しい手芸クラブとなつた。(屋嘉比さゆり)

緑樹苑デイサービスセンター ひなまつり会



緑樹苑デイサービスセンター

3月3日(金)、緑樹苑デイサービスセンターではひなまつり会が行われた。司会のあいさつに始まり、ひなまつりの由来や、ひな壇飾りの種類など説明すると、利用者から「子育て時代を思い出さー」「ひな壇かざりが自宅にあるよ」など、さまざまなお声が聞かれ、会話も弾み、和やかな雰囲気で、ひなまつり会がスタートした。

職員がお内裏様とお雛様役になり会場に登場すると、拍手と歓声があり、会場内を歩くと場内は笑い声と笑顔であふれた。ひなまつりの歌を職員と利用者の皆さん全員で合唱したほか、ビンゴ大会でさらに盛り上がり、春の季節を感じる行事を楽しむことができた。(又吉美香)

竹とんぼ

4/16(日) 開催迫る!!

沖縄市民小劇場あしひなー 入場券:1,000円

平成二十九年四月十六日

ひやみかち節コンクール

The International Competition of HIYAMIKO-CHI

出場者募集中!! 大賞賞金10万円

年齢、性別、プロ・アマ、ジャンル・・・不問。

本選 平成29年4月16日(日)
開演:午後3時
沖縄市民小劇場あしひなー
入場券 1,000円

応募締切 平成29年3月24日(必着)

上: 沖縄市民小劇場
特別協賛 コザ技術会社、株式会社仲本工室、株式会社かやま
株式会社建設業人匠才造
後援 沖縄県、沖縄市、沖縄観光コンベンションビューロー、株式会社沖縄タイムス社
株式会社琉球新報社、琉球放送株式会社、琉球朝日放送株式会社、
沖縄テレビ放送株式会社、NHK沖縄放送局、株式会社エフエム沖縄
株式会社FNCコザ、株式会社ラジオ沖縄、琉球国際民謡協会、
有限会社キヨハバス、山内盛郎歌承楽曲保存会、ライブハウスモス
協賛 沖縄市文化協会、沖縄市社会福祉協議会、沖縄市社会事業委員会

DESIGNED BY BANANA CREAM

竹とんぼ

比屋根自治会地域交流 グラウンドゴルフ大会

3月5日(日)県総合運動公園の広場。紫色のハカマカズラが咲き誇り、小鳥のさえずりは新緑を染めている。その情景に高揚したていんさぐぬ花の利用者は、春薫るおいしい空気を目一杯五感に感じながら、比屋根自治会グラウンドゴルフ大会に参加した。

本会は、さんなな運動(毎年3月7日)の一環で開催され、沖縄市高齢福祉課職員も駆けつけ健康推進をアピールた。

張り切ってゲームスタート。ゴルフ歴のある山城博さんは、久しぶりの芝に経験を呼び戻され鋭い眼差しでコースを読み解き、ドンピシヤの「寄せ」を披露しチームを盛り立てる。何度もグラウンドゴルフをされている知念功様も負けじと強気のゴルフを開。チームでいんさぐ、堂々としたプレイでホールアウト。

ゲーム終了後は、自治会の皆さんと茶菓子を頬張りながら楽しく団らんした。結果は、知念功さんと職員の仲松節子さんが入賞する大

ケアハウスといんさぐぬ花

健闘。比屋根自治会の宮里会長から、チームに参加賞まで頂き、いい地域交流ができた。
(桃原賢治)



新人職員研修を実施 研修テーマ「清潔・安全・環境づくり」



介護の基本は正しい知識、確かな技術を持ち合わせるだけでなく、職員の明るい笑顔と思いやりがあつて成り立つものであるという講師の言葉で研修は終了した。参加した職員からは「人と人とのコミュニケーション、心づかいの大切さを学んだ」「勤務して数カ月、初めて聞いた知識もあり良い経験になつた」との感想が聞かれた。(奥座嘉一郎)

私は病院勤務経験が長く、施設での経験は10年程です。病院から施設に変わったときも看護師としての立ち位置に戸惑い、今回は地域へと出ていくことになり、また戸惑うこともあります。

看護師としての立ち位置に戸惑い、今は地域へと出ていくことになりますが、現在、支援センターのスタッフと同行訪問させていただいています。スタッフの笑顔や地域の高齢者の方々の笑顔を見ていると、働く場所は違つても看護師としてやる事は同じだということを改めて実感しました。



地域包括支援センター
濱川るり子

シリーズ

職員工ツセイ

入社一年未満の職員を対象にした二回目の新人職員研修が2月24日(金)に行われ、特別養護老人ホーム緑樹苑とケアハウスはいびすくすから職員が参加した。

本研修では高齢者介護の基本的な考え方、高齢者に対する接遇等がテーマとなつた。

清潔・安全・環境づくりをテーマに、言葉の選び方、声のかけ方、「その人らしさ」に合わせた個別対応の重要性を学んだ。

介護の基本は正しい知識、確かな技術を持ち合わせるだけでなく、「その人らしさ」に合わせた個別対応の重要性を学んだ。

講師の言葉で研修は終了した。

参加した職員からは「人と人とのコミュニケーション、心づかいの大切さを学んだ」「勤務して数カ月、初めて聞いた知識もあり良い経験になつた」との感想が聞かれた。

(奥座嘉一郎)

4月行事・活動予定

	介護老人福祉施設緑樹苑	ケアハウスはいびすかず	ケアハウスていんさぐぬ花	緑樹苑ティーサービスセンター	みどり学童クラブ
1(土)			ていんさぐぬ花開所三周年		園外活動
2(日)			体重測定		
3(月)	H29年度辞令交付式	手芸クラブ	スカッシュボール		
4(火)			輪投げ	映写会	
5(水)		ミニシアター	手工芸		
6(木)	浜下り	カラオケクラブ	ボウリング	ハンドマッサージ	
7(金)			映写会	手芸クラブ	
8(土)	地域包括支援センター西部北開所式		歌会		園外活動
9(日)			カラオケ		
10(月)		利用者健康診断	スカッシュボール		
11(火)		三板クラブ	輪投げ	手作りおやつ会・三板	
12(水)		防災訓練	手工芸	映写会	
13(木)	防災訓練	手作りおやつ会	防災訓練	防災訓練	
14(金)			映写会	手芸クラブ・三板	
15(土)			歌会		園外活動・読み聞かせ
16(日)	国際ひやみかち節コンクール	国際ひやみかち節コンクール	カラオケ		
17(月)		書道クラブ	スカッシュボール		
18(火)		ドライブ	輪投げ		
19(水)		ミニシアター	手工芸		
20(木)	職員全体会議	カラオケクラブ・美化活動	誕生会	映写会	
21(金)	誕生会	手芸クラブ	映写会	手芸クラブ・誕生会	
22(土)			歌会		園外活動
23(日)			カラオケ		
24(月)		書道クラブ	スカッシュボール		
25(火)		三板クラブ	輪投げ	三板	
26(水)	防災訓練	防災訓練	手工芸	防災訓練	
27(木)		散髪・お茶会	ボウリング	手作りおやつ会	
28(金)		誕生会	映写会	手芸クラブ・三板	
29(土)			歌会	映写会	学童休園日
30(日)			カラオケ		

4月、新年度を迎えました。社会福祉法の改正により今年度から社会福祉法人の制度も大きな変革を遂げました。また、特集で紹介していますが、沖縄市も高齢者福祉の拡充を図るため地域包括支援センターを市内7カ所に設置し、そのうち西部地区を緑樹会が担うこととなりました。これからますます社会福祉法人に求められる役割は大きくなり、私たち緑樹会も、地域福祉の拠点として、地域における様々な課題に多面的に取り組む必要があります。

地域型包括センターはまさに、緑樹会の經營理念のひとつである「福祉風土づくり」を実践するものであり、これからの高齢社会を支える中核機関として担ってまいります。北』を宜しくお願い致します。(砂川智規)

編集後記

4月、新年度を迎えていた。社会福祉法の

糸洲朝勝様
與儀清春様
(利用者)二家族

感謝録

(平成二十九年二月一日～二月二十八日)

温かい御支援、御協力下さいまし
な方々に厚く御礼申し上げます。